

柏市環境基本計画（案）に関するパブリックコメント実施結果

1 計画の名称

柏市環境基本計画（案）

2 意見の公募期間

令和8年2月6日（金）から令和8年3月2日（月）まで

3 意見の提出方法

インターネットまたは用紙による提出

4 周知方法

- (1) 行政資料室（市役所本庁舎1階）
- (2) 行政資料コーナー（沼南庁舎1階）
- (3) 近隣センター・富勢出張所・柏駅前行政サービスセンター
- (4) 環境政策課窓口（本庁舎4階）
- (5) 柏市ホームページ

5 結果概要

意見提出者数	12人
インターネットの提出者数	12人
用紙の提出者数	0人

No.	提出者 No	該当箇所	ご意見・ご提案	回答（市の考え）
1	1	全体	これまでの計画と比べ、見やすくなっており、また、各種計画との関係性も分かりやすく示されています。各種計画もQRコードで確認できることから、ストレスを感じることなく、理解を深めていけると考えます。計画が掲げる目標の実現に向けて、自らができることに、引き続き取り組んでいきます。これからも応援しています。	ありがとうございます。 次期計画（案）は、市民の皆様、事業者の方等、あらゆる方にご理解いただけるよう、見やすさを工夫いたしました。 今後も本市環境行政にご協力くださいますよう、よろしくをお願いいたします。
2	2	—	柏市駅前西口のロータリーの横断歩道に信号があった方が安全だと考えます。 （マツモトキヨシと日高屋を渡る歩道、高島屋へ渡る歩道） 車通りも人の流れもそれなりに多いことから、歩行者と運転者の判断に任せず、ある程度信号で規制されていた方が安心して渡る事が出来ます。ご検討をお願いします。	いただいたご意見につきましては、本計画に関するご要望ではなく、都市交通に関するご意見であるため、都市交通部門に共有させていただきます。
3	3	—	向原公園からコンフォール（UR）方面に繋がる四季の道までの小路と、広い敷地があります。毎年5月から10月頃に草が背丈以上に伸び放題になります。歩行者や自転車とすれ違うのも危険なほど、両脇から草が伸びてしまうため、特に夏は除草をお願いしたいです。虫も多く身の危険も感じるため、ご検討をお願いします。 （今年に関しては、1月下旬に除草いただいたようですが、これからどんどん気温が上がり夏に向けてまた草が伸びてくるのではと思っています）	いただいたご意見につきましては、本計画に関するご要望ではないため、おそれいりますが、市では対応致し兼ねます。また、お示しの敷地は一般の民地であると思われるので、土地所有者の方に御連絡の上、御相談ください。
4	4	全体	・第三期柏市地球温暖化対策計画，柏市役所ゼロカーボンアクションプラン，柏市生きもの多様性プラン，柏市一般廃棄物処理基本計画，柏市緑の基本計画，柏市低炭素まちづくり計画は環境基本計画の中で議論し数値の根拠を明確にした上で，達成年を統一するべきだと思います。	いただいたご意見は，今後の参考にさせていただきます。
5	4	全体	・指標の多くが実行すべき主体が曖昧となっています。できれば，市役所，産業界，市民別に目標値を作った方がいいと思います。少なくとも柏市役所は率先して目標値を作り達成することを希望します。	いただいたご意見は，今後の参考にさせていただきます。 今回の目標値は市が率先して達成していきたい指標を設定しています。しかし，目標の達成は市のみで実現できるものではございません。今回の計画案でも共創の取組を広げていきたいことから，行政だけでなく，あらゆる人々とともに取組を進めていきたいと考えています。
6	4	全体	・コラムが多く文章の内容がうまく伝わらないように感じます。少なくとも用語の説明のコラムは，用語集にまとめたほうが，基本計画の内容が伝わりやすくなると思います。	用語集は作成する予定です。
7	4	P1	背景は，世界的な環境問題も含めて背景としたほうがよいと思います。P8以降で詳細は説明はされていますが，世界的な流れを先に示しておくほうがわかりやすいです。	世界的な流れを記載すると内容が膨大になること、あくまで本計画の策定の背景（国の環境基本法、環境基本計画等を踏まえたものであること）を示す意味でここでは国レベルからの記載としています。
8	4	P38	デコ活アクションの表 分類の 「ひとりでのCO2が下がる」 CO2の2は下付きにする	修正させていただきます。

No.	提出者 No	該当箇所	ご意見・ご提案	回答（市の考え）
9	4	P48	<p>コラム こんぶくろ池自然博物館</p> <p>「台地の表面で地下水が湧き出す「宙水（ちゅうすい）」と呼ばれる珍しいタイプの湧水」説明が間違っています。宙水は地下水の一種なので基本的には湧き出さないタイプの地下水です。浅層地下水が湧出しているのが正しいです。この地区の難透水層（不透水層）が地表面近くにあるため宙水と浅層地下水を取り違えているのではないのでしょうか。</p> <p>内閣府の地下水の基礎 地下水マネジメント推進プラットフォームでは、宙水を「帯水層の中の限られた範囲に粘土層などの難透水層が存在し、その難透水層の上に地下水が溜まって存在する場合に、この地下水を「宙水（ちゅうすい）」と呼びます。宙水は、他の地下水とはつながりがなく、粘土層の上の限られた場所に形成されるため、湧水が続くと雨水による水の供給が途絶えて、消失する場合があります。」と説明しています。</p>	<p>過去の調査において、こんぶくろ池、弁天池の湧水は、台地面を覆う関東ローム層を帯水層とし、下位の常総粘土層を難透水層として湧出することが判明しています。このことから、こんぶくろ池、弁天池の湧水は、「宙水」に該当いたします。</p> <p>コラムに記載の文章表現で解釈の違いが生じないように、文章を修正いたします。</p>
10	4	P48	2段落目のインデントの位置がおかしいので修正をお願いします。	修正させていただきます。
11	4	P56	<p>コラム</p> <p>フードドライブを柏市リサイクルプラザリボン館で行うことは否定しませんが、町中のスーパーやコンビニなど柏市リサイクルプラザリボン館以外でも行えるようにする方が良いのではないのでしょうか。すでにフードドライブ運動に取り組んでいるスーパーもありますので。</p>	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
12	4	P57	<p>コラム</p> <p>生ゴミ処理容器等購入費の補助 は廃止したらどうでしょうか。この補助金を使って柏市全体で生ゴミの量が顕著に減少したのなら別ですが、減少していないならば他に予算を回した方が良いと思います。また、EM菌は土壤肥料学会が否定している技術です。学会が否定しているのに普及させようとする意味がわかりません。</p>	本市の家庭系可燃ごみに占める生ごみの割合は、総重量の約3、4割程度と多く、生ごみ減量やリサイクルへの市民の意識醸成と取り組みが必要です。本事業は、コロナ禍を契機に申請数が増えていることや利用者アンケートでごみの排出量が減少したとの声が多いことから、本市における3R推進に資するものとして引き続き取り組んでまいります。

No.	提出者 No	該当箇所	ご意見・ご提案	回答（市の考え）
13	4	P61	<p>指標 重点施策 計画目標値が872g/人/日となっているが、この場合872g/人/日以下 と以下を追加すべきではないでしょうか。この数字は市民の排出ゴミだと思いますが、産業界の数値目標は無いのでしょうか。 同様に、基本施策1 3700人以上 基本施策2 121 t以上 と以上を追加</p>	<p>お示しのとおり、以下を追記することが望ましいですが、「以上・以下」の追記はすべての指標において表現できるものであり、追記によって、分かりにくくなること、表現が曖昧になること等を考慮し、本計画においては追記することを考えていません。</p> <p>また、本計画は理念や方向性を示す環境のマスタープランであることから、当該指標の具体的な進捗管理は、部門計画である「柏市一般廃棄物処理基本計画」において実施するものであります。</p> <p>なお、「産業界の数値」については、柏市一般廃棄物処理基本計画P73にあるとおり、柏市において、事業系ごみの数値を定めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 38,990 t/年（基準年度） ・令和9年度 40,165 t/年（中間目標年度） ・令和14年度 38,007 t/年（最終目標年度）

No.	提出者 No	該当箇所	ご意見・ご提案	回答（市の考え）
14	4	P64	<p>安全な水質環境の保全 施策の方向性 3つめ 「汚染された土壌や地下水は、摂取することにより健康被害があるだけでなく、」 汚染された土壌を摂取するとはどういう状況を示しているのでしょうか。直接土壌を食べることはしないはずで す。</p>	<p>土壌汚染対策法では、基準値の設定にあたり、地下水等 経路のリスク（汚染土壌から有害物質が地下水に溶出 し、その地下水を飲むことによる健康リスク）と、 直接摂取によるリスク（特定有害物質が含まれる汚染土 壌を直接摂取することによる健康リスク）を想定してい ます。 ご質問の汚染された土壌の直接摂取の例としては、「砂 場遊びや屋外で活動をした際に汚染土壌が手に付着し、 それを摂食する場合」や、「汚染土壌が飛散し、それが 口に入って摂食する場合」等が考えられます。</p>
15	4	P64	<p>主な取り組みの内容 3つめ 「合併処理浄化槽を設置する方への設置費の補助」 手賀沼に係る湖沼水質保全計画（第8期）P12には、「(2) 高度処理型合併処理浄化槽の設置促進（県・流域 市）」となっています。単なる合併処理浄化槽では、水質保全への寄与は小さいです。個人的には、柏市は、高度 処理NP型合併処理浄化槽を設置することを促進すべきです。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>
16	4	P64	<p>右下表 文字がずれているので修正したほうがよい</p>	<p>右下の表については修正させていただきます。</p>

No.	提出者 No	該当箇所	ご意見・ご提案	回答（市の考え）
17	4	P65	コラム 合併処理浄化槽の設置補助 高度処理型合併処理浄化槽の設置補助 または 高度処理NP型合併処理浄化槽の設置補助 にするべき	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
18	4	P66	良好な大気環境と生活環境の保全 市街地で薪ストーブの設置が増えていますが、適切な薪や適切な煙突高さでないため、ばい煙や悪臭が周囲に迷惑をかけている家が散見されるようになってきました。洗濯物も干せないなどという声もよく聞きます。柏市でも、生活環境の保全として、大気汚染防止法または迷惑防止条例など利用して対応してもらいたいものです。	いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
19	4	P68	指標 重点施策 違反率の目標値が15%ということでしょうか。柏市では法律を守らなくても良いということを公表しているようなものです。約10年後なので違反率は0%にすべきです。	重点施策の計画目標値の違反率については、理想的には0%ですが、市の施策のみによって達成できるものではなく、また、対象事業者にとっての不可抗力により違反となることもあることから、現実的目標として15%としています。
20	4	P68	基本施策1 現状でも違反率が0%なのに計画目標値も0%ならこの施策は必要ないのではないのでしょうか。重点施策でも述べたように違反率は0%が当たり前です。	基本施策1の現状・計画ともに0%としていることについても、何もしなくても違反率0%が達成されるのであればご指摘のとおりですが、残念ながら現実はそうではないため、違反率0%を維持するために取り組む必要があると考えています。
21	4	P79	指標 重点施策 全小中学校 とあるが、高校も探求の時間などで取り入れた方がいいと思います。少なくとも市立柏高校は入れるべき。	重点施策のご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。市としましては、小中学校との連携を検討していき、環境教育の取組を拡大する時期を見極め、市立高校に関わらず、市内の高校と連携を検討していきたいと考えています。

No.	提出者 No	該当箇所	ご意見・ご提案	回答（市の考え）
22	4	P79	基本施策2 SNSによる情報発信の回数 50回 とあるが、発信も大事だが、どれだけの人が見ているかの方が大事だと思う。また、SNSの発信回数が、環境保全推進によるまちの魅力向上の目標値になるのか不明です。できれば目標を違うものにすることを希望します。	基本施策2のご意見について、すでに当初から検討させていただき、今回の結論に至っています。どれだけの人が見ているかという「再生・閲覧回数」などは、ウェブ上で公開されている限り、確定しない数値であるため、今回は「発信」の回数にいたしました。ご意見のとおり、閲覧いただいた回数は重要であるため、この視点を参考にしながらSNSの活用を進めていきたいと考えています。
23	5	P48	① 48ページに「下田の杜」が自然共生サイトに2023年認定されたことが記載されていますが2025年に新しい法制化の元、再度認定されたことを記載してください。（今の内容では現在認定されていないように思われます）	追記させていただきます。
24	5	環境共創	② 「つづくをつなぐ」には学校教育が重要だと思います。そのための具体的な提案が必要だと思います 1、学校の屋上に太陽光発電を設置（子供たちが身近に実感できる） 2、市民団体と学校がつながりやすくするためにぜひ教育委員会とのつながりを深めて頂きたいと思います。 具体的には * 各学年でどのような環境学習をしているか ⇒ 教科書で、また実体験で、何を体験させるとより効果的か？ * 市民団体からどのような学習援助ができるか？具体的な提案 柏市には市民が環境保全しているホットスポットが全域に沢山あります。 身近にある自然と触れ合いながら、環境問題を自分の事として捉えること、また、子供時代の実体験が問題解決に向けて行動する人作りにつながるのではないのでしょうか	学校との連携においては、教職員や学校現場に負担がかからないよう仕組づくりを行うことや、子どもたちだけでなく、先生方への環境に対する理解を深めていただくことも重要です。 また、市民団体だけでなく、企業や学識の方など、様々な方との連携によって環境教育を推進していきたいと考えています。 ただし、学校という性質上、事故や事件につながらないように安心安全な学びの提供が必要であります。また、実施する環境教育の中身の精査等も事前に必要です。 今後とも様々な環境や人々と連携して、子どもたちに学びの場を提供できるよう、検討してまいります。
25	5	自然環境	③ 公園、神社仏閣、斜面林、農地の役割 ⇒ 「自然のダム」としての役割も重要 柏市のシンボル手賀沼も水が良くなくては魅力がありません。湧水や樹木など自然の力で支えられてきたかわ。	いただいたご意見を参考に、各施策に取り組んでまいります。

No.	提出者 No	該当箇所	ご意見・ご提案	回答（市の考え）
26	6	自然環境	<p>柏市の環境基本計画全般について、拝読させていただきました。柏市が同計画に基づき積極的に取り組まれ、また推進される計画資料、ありがとうございます。</p> <p>その中で「2.環境に関する社会動向（5）生物多様性の保全」について意見・提案を申し上げます。</p> <p>柏市はNPO、市民団体、地域の方等と協力して生物多様性の保全に向けた取り組みをしていると記載されておりますが、現場では一部ですが違和感を感じます。</p> <p>とりわけ〈コラム〉こんぶくろ池自然博物公園（48頁）についてですが、ご存知の通り現在同公園の周辺は、千葉県により道路や宅地の整備が進められております。公園内にあるこんぶくろ池や弁天池の湧水は手賀沼へ注がれる源流であり、公園全体は近隣地区の雨水・地下水等の浸透により湿地環境で包まれた雑木林等の自然林が、いわゆる里山が維持されていると言っても過言ではありません。</p> <p>公園内には絶滅危惧種のズミやヌマガヤなど貴重な植物（476種標本保存）が生育し、野ウサギ、たぬきなどの哺乳類、オオタカ、キジ、カワセミなどが飛来・生息しています。そのほかに多くの昆虫類（556種標本保存）などが生息（生物多様性を示している証拠）。</p> <p>これらの動植物はいずれも水がもたらす自然環境が保全されているからにはほかありません。しかしながら、現在工事中の南側の道路に「どうぶつトンネル」（コリドーエリアと、こんぶくろ池エリアをつなぐトンネル）が敷設されていないため、哺乳類等の往来ができかねる状況です。</p> <p>生物多様性を唱えるならば、道路上で交通事故にあわないためにも「どうぶつトンネル」は絶対必要です。ご検討を切に願います。</p> <p>加えて、地金堀につながる北側排水路が暗渠になりその上に車両道路が敷設される模様と風の便りにお聞きしておりますが、もし、これらの工事が行われれば、こんぶくろ池の北側にある工場（工業団地）よりしみ出す地下水脈が分断され、公園はもとより地金堀に沿って湿地環境が維持できなくなる恐れが有り、致命的な打撃を与えることになるのではないかと危惧しております。よって、車両用の道路ではなく、地下水に影響を及ぼさない人のみが散策できる遊歩道にすべきと提案させていただきます。これらの提案はまさに基本方針、基本目標の自然環境、自然との共生の推進になると思われまます。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>本計画は、環境分野における方向性や理念を定めたマスタープランとして策定しています。</p> <p>個別具体的な取組につきましては、本計画の下位計画である「柏市生きもの多様性プラン」において進めています。</p>
27	7	P42 P48	<p>柏市酒井根にある下田の杜で活動しているものです。</p> <p>P42・48の下田の杜の自然共生サイトに関しては最新の情報を入れてほしいです。</p> <p>令和5年の自然共生サイト認定に続き、新たに地域生物多様性増進法に基づき「令和7年9月、「自然共生サイト」に認定されました」</p> <p>P48の下田の杜の写真の下の「■下田の杜（2023（令和5年度）認定）も「■下田の杜（令和5年・令和7年）認定」がよろしいかと思ひます。</p>	<p>・P42・48：ご意見を基に記載を修正させていただきます。</p>

No.	提出者 No	該当箇所	ご意見・ご提案	回答（市の考え）
28	7	P86	<p>P86の事業者の取り組みのところで気が付いたのですが、環境省が行う企業と環境保全団体とのマッチングのように、かしわエコカンパニー等と人的支援、技術的支援、金銭的支援を望んでいる柏市内の環境保全団体を結びつけるマッチング等の企画があれば、高齢化、人材不足の団体への強力な支援になると思います。</p> <p>いくつかの似たような施策を合わせるとこのような中身になるかとは思いますが、柏市が進んで企業と団体のマッチングを進めるといふを市の施策に入るとよろしいのではないかと思います。</p> <p>気が付いたことを書き記しました。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>本計画では分野「環境共創」を新たに設け、あらゆる方々と連携して環境保全に取り組んでいくことを方向性に位置付けました。</p> <p>市としましても、各団体様の高齢化や人手不足の課題は認識しています。今後は、他市の取組事例や企業の取組などを調査しながら、検討していきたいと考えています。</p>
29	8	地球環境	<p>二酸化炭素排出量を5分類しているのは、わかりやすいです。事務分野別とは、市役所関係でしょうか？</p> <p>柏パブリックエネルギーの取り組みで、エネルギーの地産地消は、素晴らしいと思います。工場等のごみ焼却で発電して市内に供給する事業をもっと進めてほしいと思います。</p>	<p>二酸化炭素排出量の5分類のうち、市役所（公共施設）での電気・燃料の使用に係るものは業務部門となり、公用車の使用に係るものは運輸部門となります。市役所のほかに業務部門に属する排出としては、事務所やビル、商業・サービス施設における電気・燃料の使用に係るものが該当します。</p>
30	8	P64	<p>安全な水質環境で、PFOS、PFOA対策の取り組みについて、さらっと触れただけで、残念です。騒音でもそうですが、下総基地が住民の迷惑基地にならないように、PFOA、PFOS汚染の原因究明を、基地内の土壌汚染や地下水汚染調査を、求めます。</p> <p>さらには、近隣の皆さんへの周知と、補償を、しっかりお願いします。</p>	<p>柏市環境基本計画は、環境分野の将来像、理念、方向性等を定めるものであることから、P64の記述は生活環境分野の主な取組内容を記載しており、PFAS全般に関する具体の取組の全てを記載することは予定しておりません。</p>
31	9	生活環境	<p>PFAS汚染に関する記述がないのが気になります。以下を強く要望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下総基地に対して、流出防止対策の徹底を促すこと ・上記について柏市が厳格に確認すること ・地下水汚染の原因を調査すること ・汚染度を除去すること ・基地周辺住民に対し、PFAS血中濃度検査の費用を助成すること ・上水道の敷設及び浄水器等設置に対する補助金 <p>鎌ヶ谷市など近隣市の対応と比べると、柏市の対応は遅すぎます（というか始まってもない）。柏市民の健康を守ることは柏市の責務です。今回の計画で必ず上記を明確に含めてください。</p>	<p>柏市環境基本計画は、環境分野の将来像、理念、方向性等を定めるものであることから、PFAS全般に関する具体の取組の全てを記載することは予定しておりません。</p>

No.	提出者 No	該当箇所	ご意見・ご提案	回答（市の考え）
32	10	地球環境	脱炭素の目標が、諸外国と比べても決して高くない日本の国と同じであり、脱炭素のリーディングシティとは到底言えません。脱炭素の取り組みが、持続的経済成長も促すこともとらえ、より高い脱炭素の目標と政策を明示すべきです。	国の目標値は従前の国の目標値から大きく引き上げているもので、国において「野心的」な目標として扱っております。直近の柏市の排出実績（令和4年度）が16.2%の削減にとどまっており、まずは本計画の方向性を踏まえ、「柏市地球温暖化対策計画」における取組を着実に実施し、本計画の基本方針「脱炭素社会の実現」につながるよう努めてまいります。
33	10	P64	PFAS問題について、p64に「PFOS及びPFOAによる河川及び地下水の汚染について、汚染機構の把握と対策に取り組みます。」とありますが、 欧米では、PFOSとPFOAだけでなく、多くのPFAS類が規制されています。特に、EUではPFASゼロの流れです。 鎌ヶ谷市が公費補助を行っているPFAS血中濃度検査では、10人中9人から高濃度のPFHxSが検出されました。 PFHxSの人体に対する悪影響は、研究により明らかになってきています。 柏市は、PFOSとPFOAだけでなく、PFHxSを含む他の多くのPFAS類を調査・対策の対象とすべきであり、「PFOS及びPFOA」ではなく、「PFAS類」と記述すべきです。 また、河川及び地下水のPFAS汚染は、土壌のPFAS汚染がその根本にあると考えるべきでありこの記載部分を含め、土壌のPFAS汚染の調査と対策に関する記述を入れるべきです。	柏市環境基本計画は、環境分野の将来像、理念、方向性等を定めるものであることから、P64の記述は生活環境分野の主な取組内容を記載しており、PFAS全般に関する具体的な取組の全てを記載することは予定しておりません。

No.	提出者 No	該当箇所	ご意見・ご提案	回答（市の考え）
34	11	生活環境	<p>柏・鎌ヶ谷・白井地域の PFAS 汚染を考える市民の会 柏市環境基本計画（案）への意見</p> <p>下総基地周辺の PFAS 汚染対策に千葉県・柏・鎌ヶ谷・白井市は取り組んでいます。市民の会は、PFAS汚染に取り組んでいることに評価しますが、「一刻も早くなくしてほしい」との立場からのべれば柏市の対応は不十分と指摘しなければなりません。県と3市は、PFAS 汚染源は「下総基地からの排水と考えられる」とのべ、下総基地は3つの排水口に「イオン交換樹脂による処置」を実施し、処理能力の性能は確認されました。同時に発表した「県及び柏市の水質調査結果」では金山落までの PFOS 及び PFOA 合計値が高い数値が検出されています。鎌ヶ谷市が8回目の井戸水水質調査（令和7年12月）を実施しました。48本の井戸水から高い数値が検出されています。私たちは、県と柏市などが取り組んできたPFAS汚染対策を環境における重大な問題として取り上げ、積極的な対策を求めています。</p> <p>まず、柏市の環境基本計画（案）に次の対応がなされるための記述を求めます。</p> <p>1、PFAS 汚染調査・対策の早急で全面的な取り組みを求めます 永遠の科学物質と言われる有機フッ素化合物（以下 PFAS）による高濃度の汚染が、自衛隊基地（下総基地）周辺の地下水、河川・湧水、土壌、飲用水から確認され、健康への影響が大きな問題となっています。PFAS 汚染から住民の健康を守るため、早急に汚染実態を詳細に究明し、全面的に対策をすることが必要です。</p>	<p>柏市環境基本計画は、環境分野の将来像、理念、方向性等を定めるものであることから、PFAS全般に関する具体の取組の全てを記載することは予定しておりません。</p>
35	11	生活環境	<p>2、PFAS 等に関する国際的水準の取り組みを求めます PFAS は体内などへの残留性が高く、国際的にも発がん性などの健康影響が指摘され、欧米等では厳しい規制が行われています。EU では1万種類以上あると言われる PFAS を包括的に規制する動きがでています。一方、日本国内の規制は、PFAS のうち、ストックホルム条約（POPS 条約）で製造・使用が禁止されている PFOS と PFOA、PFHxS の3種類のみで、対応の遅れが際だっています。また飲用水における基準値は日本の暫定目標値 50 ng/L に対しアメリカは 4 ng/L と厳しい基準が設定されています。</p> <p>現在、食品安全委員会の評価書では、耐用一日摂取量（TDI）を PFOS と PFOA は 20ng/kg 体重/日と判断しました。これは 60kg の人は一日あたり 1,200ngの摂取は許容範囲となり、これでは市民の健康は守れません。国内で確認されている高濃度な汚染でも基準値以下で「安全」といえません。</p> <p>アメリカは国内の基地の土壌の徐染をスーパーファンド法に基づいて進めています。日本は土壌汚染には基準を作っていない等問題が多くありますが、柏市においては、市民の命、健康を守るため、PFAS問題の対応において、科学に基づいた国際的基準での取り組みが必要です。</p>	<p>柏市環境基本計画は、環境分野の将来像、理念、方向性等を定めるものであることから、PFAS全般に関する具体の取組の全てを記載することは予定しておりません。</p>

No.	提出者 No	該当箇所	ご意見・ご提案	回答（市の考え）
36	11	生活環境	<p>3、住民を対象にした健康調査の実施を求めます PFAS 汚染の深刻な実態が明らかになる中で、住民の健康不安が広がっています。住民の要求に応じて、独自に血液検査を実施してください。鎌ヶ谷市は医療機関と連携して血液検査を実施しています。しかし、柏市は健康影響については明らかでなく、血液検査は不要とする態度に固執し、調査や対応に後ろ向きです。 柏市においても、鎌ヶ谷市のように、血液検査を希望した市民に対し血液検査、健康調査の費用を市が助成し、健康影響の研究を進めることが必要です。</p> <p>4、PFAS 汚染に対する緊急対策を求めます 柏市は、PFAS に汚染されている実態を全市民に知らせ、PFAS 汚染を環境問題として「一刻も早くなくす」対応を緊急対策として取り組むことを要望します。水質、土壌汚染関係法規を強化し、汚染源事業者に汚染調査、汚染除去など処理責任を明らかにすることが必要です。</p> <p>私たち市民の会は、柏市環境基本計画（第四期）（案）を読ませていただいた上で、PFAS 問題の記述が不十分であると捉えました。 1万種類以上もある PFAS 類について、世界では、多くの PFAS 類に規制が進められ、ヨーロッパでは PFAS ゼロの流れです。柏市の環境基本計画（案）は PFOS 及び PFOA のみで、河川と地下水のことしか書いてありません。これは、あまりにも不十分と言わざるを得ません。 PFAS 問題の具体的対応がなされるよう、PFHxS をはじめ、PFAS 類全般を取り扱い、土壌の PFAS 汚染調査、対策など、柏市が包括的に PFAS 問題に取り組むよう、柏市環境基本計画（第四期）（案）の PFAS 問題に関する記述を改めていただきたいと思います。</p> <p>2026年3月2日 柏・鎌ヶ谷・白井地域の PFAS 汚染を考える市民の会 事務局</p>	<p>柏市環境基本計画は、環境分野の将来像、理念、方向性等を定めるものであることから、PFAS 全般に関する具体的な取組の全てを記載することは予定しておりません。</p>
37	12	基本構想 環境共創	<p>基本構想の「目指す環境像」『多様な人々が共創し、環境にくらしと経済が調和した未来を育むまち・柏』は素晴らしいと思いました。 共創という考えを実現するためには、市民の意識の向上を図ることが重要だと考えます。（アンケートの結果からみても） そこで環境教育について、具体的にはどのように進めていかれるのでしょうか？基本計画では見えてきません。 特に子どもたちへの教育はとても重要だと考えます。教育委員会とも連携して学校教育の中に位置づけることが必要ではないでしょうか。 まず子どもたちに自然を好きになってもらうこと（小学校低学年から）そして自然の変化に気づくことが出来る人になってもらうこと、そして様々な環境問題に意識を持ち自ら調べ行動できる人になってもらうことがとても重要です。子どもが変われば保護者の意識も変わります。 環境問題に関するイベントや講演会、企業への取り組み等も重要ですが、まず学校の中できちんと取り組めるような枠組みを教育委員会とともにぜひ構築して下さい。</p>	<p>基本構想に共感くださいます。誠にありがとうございます。 本計画は、環境分野における方向性や理念を定めたマスタープランとして策定しています。 本計画の内容を踏まえ、関連する個別計画において具体的な取組や事業を位置付けています。 いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	提出者 No	該当箇所	ご意見・ご提案	回答（市の考え）
38	12	地球環境 自然環境 資源循環	<p>柏市はゼロカーボンシティ宣言をしていますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーパネル設置について 今はリサイクル率が50パーセントほどで積極的に進めるには疑問があります。循環経済施策にもありましたが、使えなくなったパネルのリユース、リサイクルについては早急に調べ、柏市でリサイクルの施設を設置するなどなどの取り組みをして下さい。 ・CO2を出さない取り組みだけでなく、吸収するための植林や森林管理にも積極的に取り組んで下さい。森林管理には多くの予算と人手が必要です。そのための予算や保全団体への援助をお願いします。 	<p>地球温暖化対策として、再生可能エネルギーを導入することが重要であり、本市の再生可能エネルギー導入ポテンシャルからは太陽光発電設備の導入を推進する必要があります。一方で、将来、太陽光発電設備の多量の排出が想定されることから、ソーラーパネルのリサイクルについては、現在、国において法整備を進めているとことですので、市としましては国の動向を踏まえ、使用後の廃棄パネルの適正な処理を推進してまいります。</p> <p>植林は、生態系や生物多様性への影響を踏まえた慎重な検討が必要であり、森林管理は、原則、土地所有者において適正に管理いただくことが必要です。市としましては、森林だけでなく、様々な自然環境の保全や管理の必要性について、人々によって意識や行動が広がるよう、周知啓発または関係者と協力して取り組んでまいります。</p>
39	12	自然環境	<p>最近柏市の湧水が減少しています。専門家に依頼して調査助言をお願いしたいです。</p> <p>谷津の地形の中では湧水は生きものにとっても農業にとってもとても重要なものです。是非お願いします。（施策の中にも入れていただきたい）</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>湧水の保全は現在も実施しており、引き続き、柏市生きもの多様性プランにおける取組を進めてまいります。</p>